

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 8月

令和5年8月1日の推計人口 1,268,216人
世帯数 558,362世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和5年8月1日現在の推計人口は、1,268,216人で、前月(1,269,079)に比べ863人の減少となった。

市部では、大村市(66)、雲仙市(4)の2市で増加し、長崎市(△275)、佐世保市(△189)、島原市(△72)、南島原市(△69)、平戸市(△56)、対馬市(△49)、壱岐市(△40)、諫早市(△36)、五島市(△22)、松浦市(△11)、西海市(△10)の11市で減少した。

郡部では、時津町(15)の1町で増加し、新上五島町(△36)、長与町(△31)、川棚町(△27)、佐々町(△14)、小値賀町(△7)、東彼杵町(△2)、波佐見町(△2)の7町で減少した。

自然動態は、出生数640人、死亡数1,479人で839人の減少、社会動態は、転入者数3,148人(県内転入を含む)、転出者3,172人(県内転出を含む)で、24人の減少となった。

2 世帯数

令和5年8月1日現在の世帯数は、558,352世帯で前月(558,429)に比べ67世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 6月

1人当たり現金給与総額 407,457円
対前月比 49.8%増加
対前年同月比 2.9%減少

1 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額は407,457円で、前月に比べ49.8%増加し、前年同月に比べ2.9%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は244,108円で、前月に比べ0.2%減少し、前年同月に比べ1.8%減少した。

特別給与額は163,349円で、前年同月に比べ、7,628円減少した。

2 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は152.0時間で、前月に比べ5.6%増加し、前年同月に比べ1.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は141.2時間で前月に比べ6.2%増加し、前年同月と比べ、0.9%減少した。

所定外労働時間数は10.8時間で、前月に比べ2.7%減少し、前年同月に比べ6.1%減少した。

3 雇用

6月の常用労働者数は207,532人で、前月に比べ、1.7%減少し、前年同月に比べ2.2%減少した。

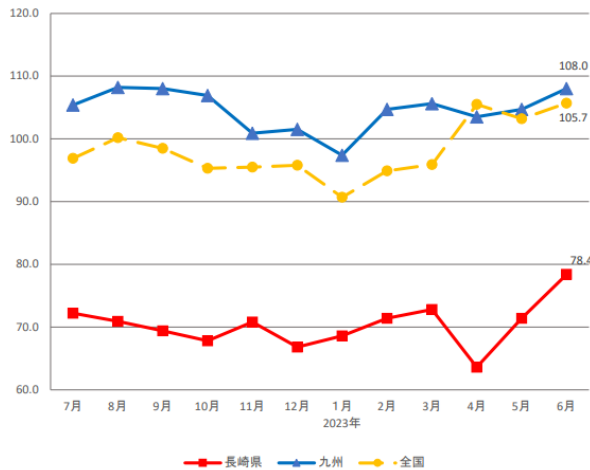
【鉱工業生産指数】……………6月

令和5年6月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	78.4	9.8	76.4	2.1
九州	108.0	2.9	106.8	4.3
全国	105.7	2.4	108.3	0.0

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2023年6月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が78.4で対前月比は9.8%の増、原指数は76.4で対前年同月比は2.1%の増となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、食料品工業、電子部品・デバイス工業など6業種が上昇し、電気機械工業、繊維工業、窯業・土石製品工業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	78.9	蒸気タービンの部品・付属品
食料品工業	13.5	その他の調味料
電子部品・デバイス工業	12.7	半導体集積回路

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△30.5	交流発電機
繊維工業	△11.0	漁網・陸上網
窯業・土石製品工業	△0.3	生コンクリート

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………7月

総合指数(R2=100) 105.6

対前月比(%) +0.8

対前年同月比(%) +3.3

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、105.6である。

前月比+0.8%で、主な上昇要因は「食料」の+1.1%、「交通・通信」の+1.8%であり、主な下落要因は「光熱・水道」の△1.1%、「被服及び履物」の△0.7%である。

前年同月比は、3月は+3.2%、4月は+3.1%、5月は+3.2%、6月は+2.9%と推移した後、7月は+3.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は105.3で前月比+0.6%であり、前年同月比は+3.3%であった。

△上昇した費目

食料	1.1%
交通・通信	1.8%
教養娯楽	2.3%
家具・家事用品	2.3%
保健医療	1.1%

同水準の費目

住居	±0.0%
教育	±0.0%

▽下落した費目

諸雑費	△0.2%
被服及び履物	△0.7%
光熱・水道	△1.1%

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………7月

消費支出(一世帯当たり) 267,926円

前月比 11,960円増(4.7%増)

令和5年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は267,926円で、前月比4.7%の増、前年同月比は4.5%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は62.7%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。